

# 東北農商工連携プロデューサー育成コンソーシアムの農商工連携等促進人材創出事業について

## 1. 事業モデル名：農商工連携プロデューサー育成塾

### 2. 事業者の概要

補助事業者名：東北農商工連携プロデューサー育成コンソーシアム（管理法人：株式会社プロジェクト地域活性）

所在地：宮城県仙台市

地域課題：東北地域では、若者が魅力的な仕事を求めて首都圏等に流出している。更に本年3月の東日本大震災が「人財」の流出に拍車をかけている。震災からの早期復興のためにも、将来の東北地域の担い手となる人財の確保・育成が喫緊の課題である。そのためには、東北の強みである農林水産資源、観光資源等を活用して、付加価値の高い産業、魅力的な仕事を創出するため、農商工連携による地域の6次産業化に取り組むことが重要であり、その中核となる「経営人財」の輩出が最も重要な課題である。

課題への取組：農商工連携の中核となる経営人財を育成する「農商工連携プロデューサー育成塾」（以下、育成塾）を実施し、平成21年度22名、平成22年度18名が修了。現在27名が農商工連携によるビジネス創出に取り組んでいる。

3. 事業目的・内容：農商工連携による地域の6次産業化及び震災復興を促進するため、農商工連携によるビジネス創出ノウハウの講義&ワークショップ、先進事例の現地視察・ケース研究を行い農商工連携プロデューサーを育成する。平成22年度からは、ハンズオン支援を導入し、育成者のビジネスプラン実現のため、きめ細かな支援を実施している。また「みちのく6次産業プラットフォーム」を活用した支援も継続して行う。

### 4. 事業の目標

育成する人材像：農商工連携の中核となり、ビジネス創出と震災復興等を実現する経営人財（農商工連携プロデューサー）

育成する人材数：平成22年度12名、平成23年度から毎年10名（3年で32名）



農商工連携プロデューサー育成塾 講義・実習

ハンズオン支援

みちのく6次産業プラットフォームによる支援